

授業科目名・形態	基礎助産学	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤 優子・水沼 慎人	開講期	3年後期	単位数 2

【授業の主題】

ライフサイクル各期における女性及び妊産褥婦を理解するために、必要な女性生殖器の構造と機能について深く学ぶ。さらに生殖器に関連した病態生理、疾患、検査、治療について学び、思春期から老年期までの女性の健康問題に対するケアや支援をするために必要な知識を学ぶ。

【授業の到達目標】

1. 女性および男性の生殖器の正常な構造と機能について基礎的な知識を深める。
2. 妊娠の成立と維持の機序と母体の身体的変化について理解を深める。
3. 性の正常な機能と障害について考えることができる。
4. 不妊症、遺伝疾患、母子感染症などについて学び、これらの問題を抱える女性や母子に対するケアや支援について理解できる。
5. ライフサイクル各期における健康問題とケア・支援について理解できる。

【授業計画・内容】

第 1 回	母性の身体的特徴	(工藤)
第 2 回	生殖生理の関連する視床下部一下垂体機能	(工藤)
第 3 回	卵巣機能	(工藤)
第 4 回	妊娠の成立と維持の機序	(工藤)
第 5 回	胎児胎盤機能・母乳分泌の機序	(工藤)
第 6 回	性の行動と機能	(工藤)
第 7 回	遺伝と遺伝性疾患	(工藤)
第 8 回	不妊症の診断・検査・治療と生殖補助医療	(工藤)
第 9 回	母子と免疫／母子感染	(工藤)
第 10 回	女性のライフサイクル各期における主な疾患と助産ケア	(工藤)
第 11 回	周産期の異常①（妊娠期・分娩期）	(水沼)
第 12 回	周産期の異常②（産褥期・新生児期）	(水沼)
第 13 回	麻酔・薬剤・産科手術・器具	(水沼)
第 14 回	産科救急（出血・ショック）	(水沼)
第 15 回	周産期における超音波診断法	(水沼)

【授業実施方法】

主に講義

【授業準備】

テキスト、および関連書籍の該当頁を熟読し予習をする。

【主な関連する科目】 助産診断・技術学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

【教科書等】

我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 2、基礎助産学[2]母子の基礎医学、医学書院
 我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 6、助産診断・技術学[1]Ⅱ妊娠期、医学書院
 我部山キヨ子・武谷雄二：助産学講座 7、助産診断・技術学[2]Ⅱ分娩期・産褥期、医学書院

【参考文献】

井上裕美他監修：病気がみえる 婦人科・乳腺外科 vol.9 第4版 メディックメディア
 井上裕美他監修：病気がみえる 産科 vol.10 第4版 メディックメディア
 日本産婦人科学会／日本産婦人科医会編集・監修：産婦人科ガイドライン 産科編 2017
 武谷雄二他監修：プリンシプル産科婦人科学 2 産科編 第3版 MEDICAL VIEW

【成績評価方法】

後期定期試験 100%

【学生へのメッセージ】

授業を理解するため予習・復習は必須です。理解できなかった箇所は明確にして、調べる、教員に質問するなどして整理し、自身の言葉で説明できるように理解を深めましょう。